



育成だより

第12号

平成8年3月31日

貝塚中学校区
青少年育成委員会



貝塚中学校区
青少年育成委員会会長

田中 信夫

生徒を守るための

通学路の確立を目指して

北千葉バイパスの開通に伴い、貝塚中及び桜木小等に通う四百名余の児童・生徒にとっては、バイパス横断は非常に危険を伴うことになり、平成元年から地元警察のご協力を得ながら地域を挙げてこの問題に取り組んで参りました。この間、北千葉バイパス対策協議会を設置し、過去七年間三十数回にも及ぶ会議を開催し、国県市当局等の関係機関に強い要望を続けて参りました。

私も育成委員会は、四百名余りの通学路安全確保のために、対策協議会と連携を取りながら、一体となって努力し続けて参りました。本委員会がこの問題を最重要問題として、積極的に取り組んで参りましたのは、子供たちの生命を激しい交通量のバイパスから守るための使命からでした。

度重なる緊急会議の結果、関係当局からは通学に対する当面の交通安全対策として

- 一、信号機の新設
- 二、防護柵の設置
- 三、看板設置
- 四、誘導員の配置
- 五、貝塚北部団地内通学路の整備及び拡張

等々の整備を早急に講じる旨の回答を戴き、暫定的ではありますが、右の対応がなされ、今日に至っております。

「明るく安全な通学路の確立」こそ、私も大人の役割と責任であり、今後とも地域の皆様、PTA、各種団体のご協力を戴きながら、全力投球で取り組んで参りたいと思います。

尚、今後は、完全な通学路の建設のために、源・大森線の日も早い促進を計り、源・大森線促進協議会を設置し、全地域挙げて全力投球し、子供たちを交通災害から守るためにも施策を施し、百年の計を樹立すべく努力しなければならぬと思います。そのために、皆様の絶大なるご支援・ご協力を賜りますことを心から念願しております次第です。

一年を

振り返って


 貝塚中学校区
青少年育成委員会副会長

関塚 昭男

五十一号北千葉バイパスは国道五十一号線の渋滞緩和を図るため建設省が昭和四十六年用地買収に着手（一部中断を含め）以来実に二十余年の平成七年八月十一日開通されたことは喜ばしいことです。

しかし開通に至るまで北千葉バイパス対策協議会田中会長を中心とした、青少年育成委員会・学校・PTA等々により交通対策に対する協議を重ね再三に亘り市建設局、教育庁、建設省千葉国道建設事務所を招き説明を求めると共に、地区連協及び関係者による、交通安全の要望・要請を重ねた結果、夏期間中の開通にも拘わらず、通学路における交通事故もなく現在まで無事故であることは、学校・地域住民並びに青少年育成委員会・東警察署等の方々による交通安全と事故防止対策に取り組んできた賜物と思います。

警察庁の統計によると平成六年度運転免許所持者は六七二〇万人、

保有台数六八〇万台、また昨年の交通事故による死者数は一〇六七九人と昭和六十三年以来連続一万人を上回る結果となり、これは毎日三十人に近い方が亡くなっていることになりました。しかしこのような交通事故の厳しい状況が一般には十分理解されていないのが実情かと思っています。

例えば自分或いは身内なり親しい人が人身事故の当事者になると交通事故は全く他人事ではありません。身体的・精神的・経済的に如何に大きなダメージがあるか気づかないのが現実であり、当事者になってからでは遅いのです。

北千葉バイパスの開通により今後は源・大森線の整備の促進、通学路の環境や交通アクセスなど十分な検討を図り、明るい楽しい通学・通勤道路をめざして皆さんで努力することが大切なことです。

また、一人一人が交通ルールを守り交通事故を回避するため、家庭・学校・地域住民の協力により交通事故防止に一九となつて取り組むことが極めて大切なことであると思います。



北千葉バイパスの開通

貝塚北部自治会会長

本間 修

昨年の夏休み、八月十一日に国道五十一号北千葉バイパスが開通いたしました。開通にあたり、貝塚中学校区育成委員会のメンバーを中心とする対策協議会と関係省庁との間で再三話し合いが行われ通学路の安全対策が協議され、開通後はPTA及び学校関係者の協力により通学する生徒の事故も

通学路を利用して

千葉市立貝塚中学校 一年五組

壇谷 裕子

私が入学した当時は、畑の中に一本の細い道だけがありました。登下校に見たあの景色が私は好きでした。一年たった現在、予想もしなかったような立派なバイパスができました。以前は、部活動の帰りなど暗くてこわかったのですが、今は外灯がで、少しは安心できるようになりました。しかし車の交通量が増えた上に、細い道

なく今日に至っております。

また、貝塚中学校に隣接する貝塚北部自治会の通学路となる道も安全確保のため今までむき出しであったU字溝に蓋掛けがされ、道路整備がなされ当自治会も大変に有り難く思っております。

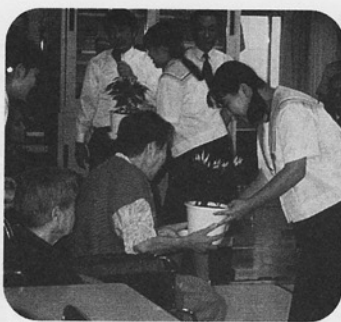
以前は畑であったところに最近ではガソリンスタンドやコンビニエンスストアが建ち始め通学環境も変わりつつあります。より一層の安全確保のためにこのバイパスと交差する都市計画道路の早期完成を望み、期待しております。

ではまだ整備されてなく、危険なので、ガードレールなどを作ってくれと安全です。バイパスができ、便利になった分一般道は車も増え、私達も気をつけなければいけないと思います。また、バイパスのお陰で五十一号線の混雑は解消されたし、車を利用する人や産業の面でも効率が良くなって、地域も発展すると思います。

バイパスは直線道なのでスピードを出す車が時々います。また、道路の幅が広いので、お年寄りや身体の不自由な人にとっては、渡るのに時間がかかって大変です。だから、私達も登下校では車に注意して横断したいです。



桜ヶ丘養護学校との交流
—千葉市立桜木小学校—



特別養護老人ホーム和陽園への慰問
—千葉市立貝塚中学校—



平成7年・北貝塚まつり
—千葉市立北貝塚小学校—

豊かな心を持つ生徒達



千葉市立
貝塚中学校校長

本保 弘文

本校は「自主 創造 練磨」を校訓とし、具体的な目標として

・美しい学校にしよう。

・礼儀正しくしよう。

・時間を守ろう。

という三点を掲げ、教育活動を展開しております。

本年度は、

①早朝、生徒達が正門付近の掃除を行う。

②早朝、生徒会役員等が正門に立ち、挨拶運動を行う。

③部活動の生徒達が積極的に奉仕活動を行う。

④多くの生徒が明るく挨拶をする。

⑤草花を育て、福祉施設に贈る等のよさが多く見られています。

さらに、生徒が「喜んで登校し、充実感を持ち、満足して下校する学校（学級）づくり」に努めて参ります。今後ともご支援とご協力をお願い申し上げます。

いじめに負けるな



千葉市立
北貝塚小学校校長

木元 孝

いま事あるごとに話題になっているのが、いじめが原因の自殺です。人が自らの命を断つということとは並大抵のことではないですが、何と簡単に死という道を選んでしまふのでしょうか。

どれがいじめで、どこまでが死の原因になるのか等いろいろ論議

子どもとのふれ合いを大切に



千葉市立
桜木小学校校長

清川 恒夫

北千葉バイパス建設に伴う、児童・生徒の通学路に関する協議、要望。青少年育成環境浄化での、有害図書、痴漢防止、愛の一声運動等の活動、組織の綿密な計画と行動が実を結び、素晴らしい成果をあげております。不登校、いじめの問題にも、かなりつつこんだ話し合いがなされました。

されていますが、本人からすれば自分に対する言葉や行為が耐えられない苦しみや悔しさを感じてのことなのでしょう。しかし一方では、これを乗り越えるだけの勇気と、生き抜いて行こうという強い意志をもって頑張っているのです。このような気持ちに身につくために、安心して勉学に運動に取り組める教育の場を作ってやる事が学校や地域社会の重要な役割ではないかと思っております。

この事を考えるときに、貝塚中学校区青少年育成委員会の精力的な活動に心より感謝いたします。

二十一世紀を担う子供達へのこうした地域の支援は着々と実を結んでおります。

学校側の連携もよく、貝塚中、北貝塚小の三校は、校長、教頭、生徒指導主任が必要に応じ連絡をとり合っております。

教師も親も、子どもの真の姿が見えにくいと言われます。むしろ楽しい論議よりも平素の平凡な生活の中で教育のあり方を見つめ、子どもとのふれ合いを大切にし、小さな問題の解決から、本音を汲み取りたいと思います。

健全育成を目指して

補導員の声

やさしい

まなざしで



千葉市教育委員会
千葉市青少年補導センター
東分室主査
岸本 正憲

今年の元旦、朝日新聞の「声」の欄に八街市の九歳になる男の子の短文が載った。

タイトルは、「日本に咲け僕のヒマワリ」である。内容の一部を紹介してみる。

「……略。僕のヒマワリは種の回りが37cmにもなりまして。今年はみなさんも僕のヒマワリを育てて大きい花を咲かせてみませんか。僕のヒマワリの種をほしい方には無料でさし上げます。……略」

読み終えて、「うーん」と思わず唸ってしまった。

はち切れんばかりのこの少年のゆめ。自然環境や小さな動植物に、そして、人に対するやさしい気持ちがあたたかい。

どの子どもにも秘めているやわらかな発想。みずみずしく豊かな感性。さらさらかがやく個性等、

子どものすばらしさを実感した。

生命・人権・人格を重んじた「人間尊重教育」。これは本市の教育の基調である。

青少年健全育成に関わるようになり、地域の実態や青少年の行動の背景にも理解を示せるようになった。

心に深い傷をもった子どもが、そこから脱しようとする時、想像を絶するエネルギーを必要とする。

子どもによっては、心の傷を一生背負って生きていかなければならないことを大人は知るべきである。

昨年の暮れ、NHKのラジオ放送による四日間連続の「いじめに揺れる子どもと世界」の番組を聴いた。必死になってメモをとった。

「大人はわかってくれない」という、子どもの「こころの叫び」は、あまりにも悲痛である。

経済的発展を遂げ、心の伴わない豊かな生活を追い求め続けてきた社会構造の総決算は、子どもが自らの尊い生命を絶ち、大人社会に何かを訴えかけているという事実である。

今、「地域の教育力」とは何か、待ったなしで問われている。

子供達が好きだから今

千葉市青少年補導員

田中 研一

「いじめ」については、その原因も複雑であり、個々に違います。しかし今必要なことは対策だと思っています。出来る事、可能性のあることは進めていいのではと思います。提案させていただきます。

一、中学校区ごとに、先生経験者、精神科医師、地域指導者による自由相談室を設置

「ことば」

千葉市青少年補導員

河本 明美

「ことば」漢字で書く「言葉」です。人を喜ばせたり、悲しませたり、不思議な力の持ち主です。

でも、私達は一度や、二度、言葉で失敗した経験、ありませんか。

それは「言葉」ではなく「言場」ではなかったでしょうか。使う場所・場面・立場を間違えてしまった。自分では深い意味がなく発した言葉でも、相手を傷つけてしま

二、命の大切さを、各家庭にて話し合う機会を多くする

これを進めて行く為には、より具体策が必要だと思います。

親として、子供がいじめられていることを知ったらどうしたらよいのか、また反対に自分の子供がいじめられていることを知ったらどうしたらよいのか、などと考えると、本当にたいへんな問題であると思います。

学校と家庭と地域、そして先生方と生徒が、共にそれぞれの役割を果たすことから、第一歩が始まると思います。

つたこと、ありませんか？

「ごめんなさい」と謝って済むことから、尊い人の命も奪ってしまふ、深刻な場合もあります。

ついこの間、新聞に悲しい事件が載っていましたね。複数の同級生から、心が傷つく言葉を繰り返して言われる。

相手の立場になって、発せられた言葉だったのでしょうか。何も返す言葉がなく、うつむくだけの悲しい子供の姿が浮かびます。

「言場」もう一度、皆さんで考えてみませんか。

そして「言葉」「言場」を大切にしませんか。

楽しい

学校生活を

千葉市立貝塚中学校
生徒指導主任

廣澤 文彦

本校では、様々な機会をとらえ「いじめ」が起きないように、下記の内容を全校で指導しています。
各ご家庭、地域の方々にもご理解ご協力をお願いします。

- ①お互いを認め、理解しようとする姿勢
- ②他人の痛みを感じる思いやりの心
- ③正しいことを行う正義感
- ④悩みを家族や先生に話す勇氣
- ⑤生命の尊さ

千葉市教育委員会
千葉市青少年連絡協議会

主催

平成7年度 標語コンクール参加作品(佳作)

迷わない 断わる勇氣を 大切に

貝塚中 三年 長谷川 淳

誰にでも 必ずあるはず 勇氣の翼

貝塚中 三年 奥田 智子

貝塚中学校区

青少年相談員 活動報告

第3回

グランドゴルフ大会

平成七年十月二十八日、青少年相談員主催の第三回グランドゴルフ大会を貝塚中学校のグランドで行ないました。当日は開始時間前からたくさんの子供達が集まってくれました。申し込みのあった子供は勿論、一緒に来た弟や妹、貝塚中学の剣道部の生徒さん達約一五〇名で大会が進みました。



競技の進行と同時にこの大会のもう一つのお楽しみ「焼そば」作りの方も競技の終わった子供達の熱い視線に見守られて一七〇食余りを作りました。

競技中の子供達の歓声・笑顔・昼食の焼そばを食べている時のうれしそうな顔。

貝塚中学校・北貝塚・桜木の両小学校のご協力を得て大会が開催できたことを相談員一同大変喜んでおります。

(青少年相談員)



環境対策部会

夏と冬に学区内全域に渡るパトロールを中心に活動致しました。市条例の改正に伴う、十二月の有害広告物のビラはがし等により環境がかなり浄化されてきていると思われまふ。また、当中学校の独自の加曽利貝塚一斉清掃活動にも参加することにより、地域環境の維持に、全校あげて協力していることが確認でき非常に感動しました。今年度の環境問題では、何と言っても北千葉バイパス開通による通学路の安全確保であったと思います。今日まで事故も無く通学できているのも、田中会長を始め皆様のおかげであると感謝しております。今後とも地域ぐるみでよりよい環境づくりに気を配りたいと思います。

(伊藤 清司)

福祉部会

福祉部会では福祉の面に関わりのある家庭を暖かく見守り、該当世帯の児童に励ましを、本年も地域の民生児童委員の方々の協力を得て、夏期及び年末に行う要保護世帯への慰問活動に併せ要援護家庭の状況の把握と児童への励ま

しを実施しました。また、常時要援護世帯への適切な支援を心がけ、地区民児協及び社協地区部会等と連携を保ち協力をお願いしました。

夏休み中各地区で開催された盆踊り会場周辺の巡回活動は地区毎に実施を致しました。

皆様方のご協力に対し感謝申し上げますと共に、慰問活動の訪問先で会った子供達の笑顔がいつ迄も絶えないことを心から祈ります。

(豊田 新六)

レクリエーション部会

レクリエーション部が計画した平成七年度の行事を左記の通り実施致しました。

◎グランドゴルフ大会 九月三日
市営霊園内にて、貝塚中学校生二十名を含む六十七名参加、千葉東警察署市民生活課協賛。

◎研修旅行 十一月十一日・十二日
一泊二日、九十九里浜野栄町、磯料理なごさ宿泊、房総の村、航空博物館、芝山古墳はにわ博物館、屏風ヶ浦、ヒゲタ醤油工場見学。
◎ボーリング大会 八年二月四日
川鉄リバーレーンにて、生徒五名を含む五十名参加、二ゲームトータルで技を競いました。

各行事とも、大勢の皆様の参加ご協力を戴き、レク部員一同心より感謝申し上げます。

(村井 博)

非行対策部会

子どもたちを非行から守る！

講演会と映画の夕

八月二十三日 都賀コミュニティセンターにて行いました。千葉東警察生活安全課よりいろいろご指導をいただき、大変有意義な集いでした。

また夏休みには盆踊り会場周辺のパトロール実施、冬休みにはゲームセンター・カラオケ店・パチンコ店・公園・原陸橋下等、夜間パトロールを実施しました。特に問題箇所も問題点もなかった事を報告いたします。

(梶原 顕五郎)

健全育成部会

春は国道五十一号線のピンクピラはがし、夏は各地区の盆踊り会場の巡回、そして冬は東警察署、育成委員会全体で貝塚中学校区地域内の公園等の巡回をしました。そして二月講演会を貝塚中学校

P.T.A文化部と共催で昨年に引き続き講師を間山先生にお願いして「家庭教育雑感」と題してお話を伺いました。我が身を振り返りズシンと心にひびく共感を覚えた方も大勢いらつしゃったと思います。行事にご協力ありがとうございました。

(内山 英昭)

平成8年度サマーキャンプ
参加者 募集!

- 平成8年7月25・26日実施予定
 - 県立君津亀山少年自然の家
- 詳細は後日各学校より配布致します。

編集後記

初めは、不安な気持ちでスタートいたしました。が、今では、のめり込むほど楽しく活動しています。編集に際してはたくさんの方々のご協力をいただき、本当にありがとうございました。

広報部一同